

令和 6 年度

学 校 要 覧

重点教育目標

児童生徒の心情に寄り添い、子どもが実感する
キャリア発達を促す教育を推進する



北海道余市養護学校しりべし学園分校

〒048-0101 北海道寿都郡黒松内町字黒松内564番地
電話・FAX兼用 0136-72-3903

E-mail : yoichiyougoshiribeshi-zO@hokkaido-c.ed.jp
HP <http://www.yoichiyougoshiribeshi.hokkaido-c.ed.jp>

北海道余市養護学校

〒046-0023 北海道余市郡余市町梅川町377-3
電話(代) 0135-23-7831・7877
FAX 0135-23-6199

E-mail : yoichiyougo-zO@hokkaido-c.ed.jp
HP <http://www.yoichiyougo.hokkaido-c.ed.jp>

北海道余市養護学校

しりべし学園分校 校歌

作詞・作曲

分校職員一同

一、 青い空と 緑の木

どこまでも つづいているよ
きれいな空気を大きくすって

走る うたう たくましく

しりべしの子 元気がいっぱい

二、 風の音と 鳥の声

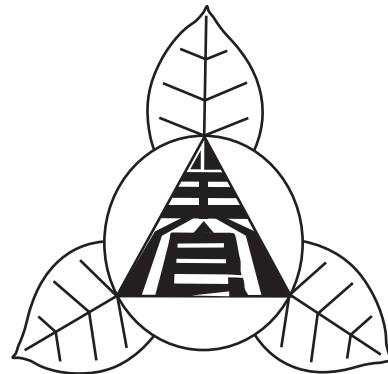
いつまでも ひびいているよ

自然も友だち 手を取りあつて

遊ぶ つくる ゆめひろげ

しりべしの子 笑顔がいっぱい

校 章



校章のいわれ

子どもたちの豊かな自己実現を願い、外側の三枚の葉は黒松内町のシンボルツリー“ブナ”の葉を配し、それぞれの葉に本校の教育目標に示す三つの子ども像を求め、併せてその成長を見守る『学校・教師』、『学園・保護者』、『地域・住民』の三者の願いを表現している。また、その内側の円は、子どもたちを包む人々の穏和な「愛の輪」を表現し、更に内側の三角にかたどられた“養”の文字は校舎の前面に見える東山と本校の特徴である西欧風の三角屋根を表現し、これに豊かな自然と温かい人々の心に支えられ、大地をしっかりと踏みしめ、将来の社会参加・自立に向かってたくましく育つ分校の子どもたちの姿を象徴したものである。

沿革

○北海道星置養護学校しりべし学園分校

昭和54年	4月1日	北海道星置養護学校しりべし学園分校設置認可 精神薄弱児施設しりべし学園の一部を借り受け開校小学部3学級、中学部2学級、計5学級認可 初代校長 美濃又 重 道 発令 教職員14名発令
昭和54年	4月12日	第1回入学式
昭和54年	5月25日	分校開校式挙行
昭和55年	3月22日	小学部・中学部第1回卒業式(小学部6名、中学部1名卒業)
昭和56年	3月24日	文集『雪の子』第1号発刊(以後継続)
昭和57年	3月15日	国際障害者年記念誌発刊
昭和57年	12月15日	教育実践交流会開催(以後継続)
昭和60年	3月31日	「教育課程」発行
昭和61年	7月26日	新校舎落成式挙行
昭和62年	9月11日	全道養護学校体育大会参加(以後 継続)
昭和63年	11月13日	開校10周年記念式典

○北海道余市養護学校しりべし学園分校

平成3年	4月1日	北海道教育委員会規則第10号12条により、北海道余市養護学校しりべし学園分校と名称を変更する 初代校長 市 澤 豊発令
平成3年	4月8日	小学部3学級、中学部2学級、計5学級認可 職員数16名 北海道余市養護学校しりべし学園分校第1回入学式(新入生小学部1名、中学部1名)
平成4年	2月26日	後志管内教育研究実践論文表彰(共同研究)受賞
平成4年	3月24日	第1回卒業式(小学部2名、中学部1名卒業)
平成6年	7月12日	校舎新築工事着工
平成6年	11月1日	分校校章制定
平成6年	11月28日	実践交流会開催
平成7年	3月16日	校舎新築工事完成
平成7年	6月20日	校舎新築第2期工事(外構、体育館、教員住宅「1棟2戸」、プール)着工
平成7年	11月30日	校舎新築第2期工事(体育館、教員住宅)完成
平成7年	12月3日	校舎新築落成記念式典挙行分校校歌制定
平成8年	2月8日	校舎新築第2期工事(外構、プール)完成
平成10年	4月1日	通知表「二期制」実施
平成10年	12月18日	「開校20周年記念誌」発刊
平成12年	4月1日	高等部開設
平成12年	4月1日	北海道立特殊教育センター事業「盲学校聾学校及び養護学校と特殊学級との連携に関する研究協力校指定
平成12年	11月23日	全道花いっぱいコンクールで奨励賞受賞
平成15年	12月17日	北海道公立学校教育課程実践研究成果報告集に全文掲載
平成20年	12月12日	「開校30周年記念誌」発刊
平成21年	7月28日	平成21年度第31回北海道特別支援教育研究協議会道央地区大会開催
平成24年	3月11日	小学部第20回、中学部第21回、高等部第10回卒業証書授与式 (卒業生 小学部3名、中学部3名、高等部6名)
平成25年	4月10日	平成25年度入学式【入学生に後援会より「コサージュ」贈呈】 (入学生 中学部3名、高等部4名)
平成25年	11月1日	平成25年度日本教育公務員弘済会教育研究論文学校研究の部 準特選受賞
平成26年	3月8日	小学部第21回、中学部第22回、高等部第11回卒業証書授与式 (卒業生 小学部1名、中学部3名、高等部2名)
平成26年	4月8日	平成26年度入学式【入学生に後援会より「コサージュ」贈呈】 (入学生 中学部1名、高等部4名)
平成27年	3月7日	中学部第23回、高等部第12回卒業証書授与式 (卒業生 中学部6名、高等部4名)

平成27年 4月 8日	平成27年度入学式【入学生に後援会より「コサージュ」贈呈】 (入学生 中学部2名、高等部6名)
平成28年 3月12日	小学部第23回、中学部第25回、高等部第14回卒業証書授与式 (卒業生 小学部1名、中学部3名、高等部5名)
平成28年 4月 7日	平成28年度入学式【入学生に後援会より「コサージュ」贈呈】 (入学生 中学部1名、高等部3名)
平成28年11月 1日	平成28年度日本教育公務員弘済会教育研究論文学校研究の部 準特選受賞
平成29年 3月11日	小学部第24回、中学部第26回、高等部第15回卒業証書授与式 (卒業生 小学部1名、中学部3名、高等部4名)
平成29年 4月 7日	平成29年度入学式【入学生に後援会より「コサージュ」贈呈】 (入学生 小学部1名、中学部1名、高等部3名)
平成30年 3月10日	小学部第25回、中学部第27回、高等部第16回卒業証書授与式 (卒業生 小学部1名、中学部4名、高等部6名)
平成30年 4月 6日	平成30年度入学式【黒松内町商工会女性会より記念品の贈呈】 (入学生 小学部1名、中学部1名、高等部8名)
平成30年12月14日	「開校40周年記念誌」発刊
平成31年 3月 9日	小学部第26回、中学部第28回、高等部第17回卒業証書授与式 (卒業生 小学部2名、中学部2名、高等部4名)
平成31年 4月 5日	平成31年度入学式【黒松内町商工会女性会より記念品の贈呈】 (入学生 中学部3名、高等部1名)
令和 2年 3月14日	中学部第29回、高等部第18回卒業証書授与式 (卒業生 中学部2名、高等部3名) *新型コロナウイルスの影響により高等部のみ举行
令和 2年 4月 7日	令和2年度入学式【黒松内町商工会女性会より記念品の贈呈】 (入学生 高等部4名)
令和 3年 3月13日	小学部第27回、中学部第30回、高等部第19回卒業証書授与式 (卒業生 小学部3名、中学部3名、高等部8名)
令和 3年 4月 7日	令和3年度入学式【黒松内町商工会女性会より記念品の贈呈】 (入学生 中学部3名、高等部3名)
令和 4年 3月12日	中学部第31回卒業証書授与式 (卒業生 中学部3名)
令和 4年 4月 7日	令和4年度入学式【黒松内町商工会女性会より記念品の贈呈】 (入学生 高等部2名)
令和 5年 3月11日	小学部第28回、中学部第32回、高等部第20回卒業証書授与式 (卒業生 高等部4名、中学部1名 小学部2名)
令和 5年 4月 7日	令和5年度入学式【黒松内町商工会女性会より記念品の贈呈】 (入学生 小学部2名、中学部2名、高等部2名)
令和 6年 3月 9日	小学部第29回、中学部第33回、高等部第21回卒業証書授与式 (卒業生 高等部4名、中学部3名 小学部1名)
令和 6年 4月 8日	令和6年度入学式【黒松内町商工会女性会より記念品の贈呈】 (入学生 中学部2名、高等部2名)

歴 代 校 長

北海道星置養護学校しりべし学園分校

初代	美濃又 重 道 (S54.4.1~ S57.3.31退職)
2代	石 川 敏 郎 (S57.4.1~ S61.3.31退職)
3代	花 輪 稔 (S61.4.1~ S63.3.31退職)
4代	岡 田 信 一 (S63.4.1~ H 3.3.31退職)

北海道余市養護学校しりべし学園分校

初代	市 澤 豊 (H 3.4.1~ H 6.3.31)
2代	佐 藤 貞 年 (H 6.4.1~ H 8.3.31退職)
3代	松 本 忠 孝 (H 8.4.1~ H11.3.31退職)

4代	武 石 詔 吾 (H11.4.1~ H14.3.31)
5代	高 橋 裕 (H14.4.1~ H17.3.31)
6代	武 田 孝 (H17.4.1~ H20.3.31退職)
7代	山 本 浩 司 (H20.4.1~ H23.3.31)
8代	磯 貝 隆 之 (H23.4.1~ H26.3.31)
9代	高 橋 由紀子 (H26.4.1~ H29.3.31退職)
10代	久 富 正 規 (H29.4.1~ R 2.3.31)
11代	辻 山 しのぶ (R 2.4.1~ R 5.3.31退職)
12代	柏 木 拓 也 (R 5.4.1~ R 6.3.31)
13代	宮 岸 尚 平 (R 6.4.1~)

令和6年度 北海道余市養護学校しりべし学園分校 グランドデザイン

北海道教育推進計画 基本理念：「自立」「共生」 ○子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育の推進 ○学びの機会を保障し、質を高める環境の確立 ○地域と歩む持続可能な教育の実現	特別支援教育の基本方針 特別支援教育の充実に向けて ○多様な学びの場の充実 ○切れ目のない一貫した指導や支援の充実 ○特別支援教育の質の向上 ○特別支援学校との教育環境の整備	国・社会の背景 ○「令和の日本型学校教育」の構築を目指して ○「新しい時代の特別支援教育のあり方に関する有識者会議報告」 ○GIGAスクール構想とBYODによる学びのDX ○学校における働き方改革の推進 ○Afterコロナ
--	---	---

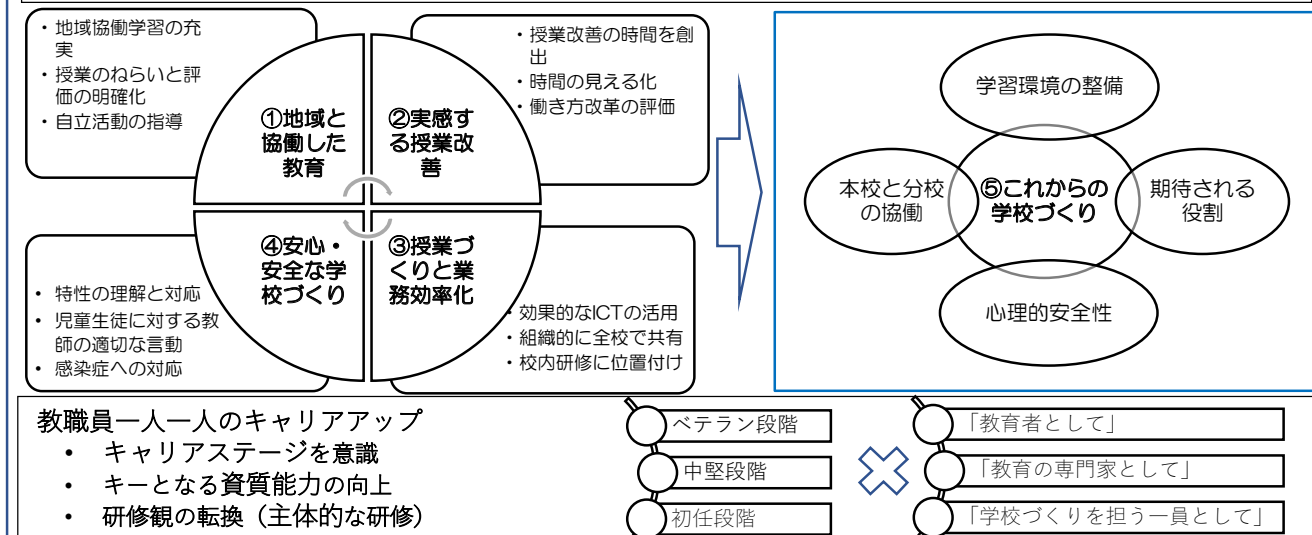
教育理念 「生きる力」「生きる喜び」を培い、豊かな自己実現の育成を目指して

学校教育目標 生き生きと学び 地域社会で豊かに生活する 児童生徒を育てる 【具体目標】 □ 主体的に学び 考え 表現する 児童生徒を育てる □ 個性や良さを発揮し 互いに認め合う 児童生徒を育てる □ 地域で 健やかに生活し 社会参加する 児童生徒を育てる	学習指導要領 何を学ぶか どのように学ぶか 何ができるようになるか
(子供たちが)めざす児童生徒像 □ 主体的に学び 活かそうとする 児童生徒 □ 伝え 認め合い 協働しようとする 児童生徒 □ 自分の力を発揮し 社会参加しようとする 児童生徒	新しい時代に必要とされる資質能力を踏まえた各教科 主体的・対話的で深い学び 知識及び技能 思考力、判断力、表現力など 学びに向かう力、人間性など

重点教育目標：児童生徒の心情に寄り添い、子どもが実感するキャリア発達を促す教育を推進する

教育方針 ①ICTを効果的に利活用した、主体的・対話的で深い学びと個別最適化した授業づくり ②知的障がい教育の専門性の発揮とアセスメントに基づいた自立活動の指導の充実 ③学習指導要領に基づく根拠ある指導の確立 ④卒業後の生活を見据えたキャリア形成を育む教育活動の充実 ⑤地域と連携した体験的で実際の学びを充実させ、学部間の系統性と独自性を確立		経営方針 ①教育活動の質の向上に向けたカリキュラムマネジメントの一層の推進 ②感染症対策を含めた安全・安心な教育環境の整備と全ての方の人権を尊重した信頼される学校づくり ③実感する授業改善及び教育の質の向上に向けて教務・事務が一体化した働き方改革の推進 ④教育公務員としての自覚をもった勤務規律の厳正な保持 ⑤保護者、しりべし学園、黒松内つくし園、地域及び学校運営協議会との連携と学校評価を活かした指導・経営の改善・充実
---	--	--

- ① 特色ある教育課程（地域と協働した教育）：「ねらいを明確にした授業づくりと評価の充実」「一人一人のアセスメントに基づく自立活動の指導の充実」「学校運営協議会と連携した地域協働学習の充実」「コロナ禍前に戻らない教育の創造」
- ② 働き方改革の推進（実感する授業改善）：「子どもと授業のために時間づくり」「効率的な会議の推進」「組織的で効果的な業務の推進」「暗黙知や校内ルールに見える化」「業務見直しの評価」
- ③ ICTの利活用（授業づくりと業務効率化）：「日常的・効果的にICTを活用した授業づくり」「教務・事務が協働する全校的な業務効率化」「オンライン授業の実践の共有」「校内研究の推進と専門性向上の取組」
- ④ 安心・安全な学校づくり：「人権を尊重した適切な言動」「規律やルールを明確にした組織的な取組（感染症への対応、職員間の報告・連絡・相談などの徹底）」「アレルギー対応」
- ⑤ これからの学校づくり：「魅力ある教育のための学習環境の整備」「期待される学校の役割」「心理的安全性の高い職場づくり」「本校と分校の協働」



研究主題：「授業づくりを核とした、児童生徒の心情に寄り添った指導・支援の充実」
 ～研究授業や研究協議を通して、指導や支援の効果を実感できる取組を目指して～

学級編制と在籍児童生徒数

(令和6年5月1日現在)

	学 部	小 学 部							中 学 部				高 等 部				合 計
	学 年	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	1	2	3	計	
児童生徒数	男 子		1	1			1	3	1	3	1	5	1	2	2	5	13
	女 子		1				1	2	1	1		2	1			1	5
	小 計		2	1			2	5	2	4	1	7	2	2	2	6	18
普通学級	児童生徒数		2	1			1	4	2	4	1	7	2	2	2	6	17
	学 級 数	1							1	1	1	2	1	1	1	3	6
重複学級	児童生徒数						1	1									1
	学 級 数						1	1									1

児童生徒の状況

(1)出身地の状況

出身地	人数	出身地	人数
黒松内町	3	今金町	1
寿都町	1	鹿部町	1
倶知安町	1	函館市	1
泊村	1	苫小牧市	1
島牧村	1	札幌市	5
小樽市	1	南富良野町	1

(2)中学部卒業後の進路状況

昭和54年度～令和5年度	
進路先	人数
施設入所	53
施設通所	1
単置高等養護	12
併設高等部	60
自宅	1
合計	127

(3)高等部卒業後の進路状況

平成14年度～令和5年度	
進路先	人数
施設入所	68
GH利用・施設通所	14
自宅(施設通所)	5
自宅(家事手伝い)	4
合計	91

(4)児童生徒数の推移

年	小学部	中学校	高等部	年	小学部	中学校	高等部	年	小学部	中学校	高等部
S54	19	7		H7	14	8		H23	5	9	11
S55	13	10		H8	11	11		H24	3	10	9
S56	14	9		H9	10	11		H25	2	11	10
S57	11	7		H10	10	10		H26	1	11	12
S58	7	7		H11	12	6		H27	1	6	15
S59	3	11		H12	9	8	7	H28	1	4	13
S60	6	10		H13	9	8	11	H29	3	6	13
S61	8	7		H14	9	11	16	H30	5	4	15
S62	12	4		H15	10	10	12	H31	3	7	12
S63	15	6		H16	9	12	11	R2	7	6	12
H1	17	6		H17	8	8	11	R3	3	6	8
H2	16	7		H18	7	7	13	R4	6	4	10
H3	15	6		H19	6	4	17	R5	5	5	8
H4	16	7		H20	5	5	13	R6	5	7	6
H5	16	6		H21	7	7	12				
H6	15	8		H22	5	8	10				

職員構成

(令和6年5月1日現在)

常 勤 職 員								非 常 勤 職 員						合 計
校長	副校長	教頭	事務長	教諭	養護教諭	事務職員	小計	専任 特別支援 学校 支援員	主事	学校医	学校 歯科 医	学校 薬剤 師	小計	
(1)	(1)	1	(1)	22	1	2	26(3)	1	1	4	1	1	8	34(3)

()内は本校勤務

教育課程

※()は重複学級

学 部		小学部						中学部			高等部		
学 年		1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3
各教科等を合わせた指導	遊びの指導												
	日常生活の指導		280	280			272 (238)	210	210	204	210	210	204
	生活単元学習		105	175			204 (204)	140	140	136	140	140	135
	作業学習							140	140	136	210	210	204
	体力づくり							70	70	68	105	105	102
	小計		385	455			476 (442)	560	560	544	665	665	645
教科別領域別の指導	国 語		105	105			102 (102)	105	105	102	88	88	85
	算数／数学		70	70			68 (68)	70	70	68	87	87	85
	音 楽		70	70			68 (68)	70	70	68	35	35	34
	図画工作／美術		70	70			68 (68)	70	70	68	35	35	34
	体育／保健体育		70	70			68 (68)	70	70	68	70	70	68
	小計		385	385			374 (374)	385	385	374	315	315	306
	特別の教科 道徳												
	特別活動		35	35			34 (34)	35	35	34	35	35	34
	自立活動		140	140			170 (170)	35	35	34	35	35	34
	小計		175	175			204 (204)	70	70	68	70	70	68
	総合的な学習(探究)の時間							70	70	68	35	35	35
合 計			945	1015			1054 (1054)	1085	1085	1054	1085	1085	1054

各 学 部 の 学 習

地域の人々とのふれあいや学習の発表などを通して、経験を広げ、社会性を培います

小学部



生活単元学習「お祭り」

中学部



総合的な学習の時間「フットパスの整備」

高等部



現場実習「駐車場の白線引き」

小学部

重点目標

児童の思いや課題に向かおうとする意欲を大切に、将来の自立に向けたキャリア発達の視点を踏まえた授業づくり、指導支援を行う。



交流学習

黒松内町の施設マナヴェールと1年に3回程度の交流を行っています。学校に来ていただき、読み聞かせなどをしていただいています。児童も施設を利用し、挨拶やマナーなどを学んでいます。



国語・算数

児童の発達段階に応じて、読む、書く、話す、聞く、数える、比べる、分けるなどの学習に取り組んでいます。学習のねらいによって個別や集団での学習を行っています。

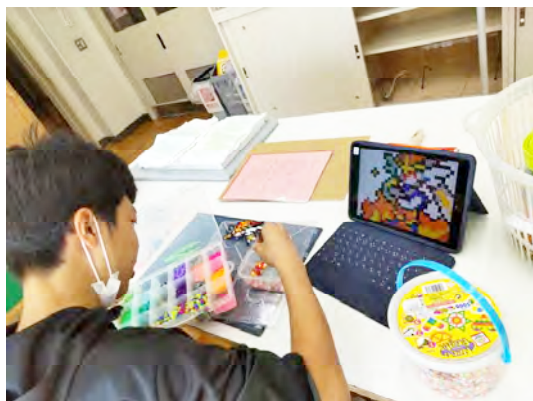
小学部第2・3・6学年（普通学級／重複学級）

時刻	時間	校時	月	火	水	木	金
9:00			登 校				
9:00 9:10	10	1校時	日常生活の指導				
9:10 9:30	20	2校時	自立活動（体力づくり）				
9:30 9:50	20	3校時	日常生活の指導 / 自立活動 日常生活の指導				
9:50 10:35	45	4校時	国語・算数				
	5		休 憩				
10:40 11:25	45	5校時	図画工作	体 育	図画工作	生活単元学習	体 育
	5		休 憩				
11:30 12:15	45	6校時	音 楽	自立活動	音 楽	生活単元学習	自立活動
12:15 12:50	35	7校時	日常生活の指導				
12:50 13:20	30		昼 休 み				
13:20 14:05	45	8校時	特別活動	生活単元学習	・生活単元学習／中学年（水・金）高学年（水～金） ・日常生活の指導 13:20～13:30（下校）／低学年（水～金）中学年（木）		
14:05 14:50	45	9校時	日常生活の指導 14:15 下校	日常生活の指導 14:15 下校	日常生活の指導 14:15 下校	自立活動	日常生活の指導 14:15 下校
14:50 15:00	10	10校時					日常生活の指導 15:00 下校

中学部

重点目標

生徒一人一人の自己実現に向けて必要な技能や態度を育成するため、キャリア発達と内面の成長を支援する視点を持ち、生徒自ら課題に取り組もうと意欲のもてる教育活動を推進する。



自立活動

各々の生徒が抱える課題を解決するに向け学習を行っています。手指の動き、コミュニケーションの取り方、自分で計画し実行する力などを伸ばすために関心や興味のあることを織り交ぜながら取り組んでいます。



総合的な学習の時間

町内を知る学習として「ブナの木」に焦点をあて、町木としての歴史を学んだり、ブナ林を各季節で散策し自然観察するなどの学習を行っています。木々の変化、林周辺の動植物でいろいろな発見があるようです。

中学部第1・2・3学年（普通学級）

時刻	時間	校時	月	火	水	木	金
9:00			登 校				
9:00 9:30	30	1校時	日常生活の指導				
9:30 9:50	20	2校時	体力づくり				
9:50 10:40	50	3校時	美 術 (特別活動)	生活単元学習	自立活動	美 術	作業学習
10:40 11:30	50	4校時	生活単元学習	生活単元学習	作業学習	生活単元学習	作業学習
11:30 12:20	50	5校時	生活単元学習	保健体育	作業学習	生活単元学習	保健体育
12:20 12:50	30	6校時	日常生活の指導				
12:50 13:00	10	7校時	特 別 活 動				
13:00 13:20	20		昼 休 み				
13:20 14:10	50	8校時	国 語	数 学	国 語	数 学	国 語
14:10 15:00	50	9校時	音 楽	日常生活の指導 14:20 下校	日常生活の指導 14:20 下校	音 楽	日常生活の指導 14:20 下校
15:00 15:10	10	10校時	日常生活の指導 15:10 下校				日常生活の指導 15:10 下校

高等部

重点目標

将来の社会生活、職業生活に向けて、生徒一人一人の特性やキャリア発達を適切に評価し、生徒自身が心情や考えを適切な方法で表現するための意欲と態度を育てる教育活動を積み重ねる。



総合的な探究の時間

地域の人材や施設、自然を有効に活用し、体験的な学習をととして、興味・関心を広げるとともに、主体的に活動に取り組む力を育てます。町内の福祉施設訪問や寿都高校との交流も行います。

作業学習

将来の社会生活を見据え、作業学習をととして、達成感や充実感を味わいながら、自分から作業活動に取り組む力を育てます。リサイクル・軽作業、園芸・農業、除雪作業などに取り組んでいます。

高等部第1・2・3学年（普通学級）

時刻	時間	校時	月	火	水	木	金
9:00			登 校				
9:00 9:20	20	1 校時	日常生活の指導				
9:20 10:10	50	2 校時	国語・数学				
10:10 10:40	30	3 校時	体力づくり				
10:40 11:30	50	4 校時	作業学習	作業学習	生活単元学習	作業学習	生活単元学習
11:30 12:20	50	5 校時					
12:20 13:00	40	6 校時	日常生活の指導				
13:00 13:20	20		昼 休 み				
13:20 14:10	50	7 校時	自立活動	保健体育	音 楽	美 術	保健体育
14:10 15:00	50	8 校時	生活単元学習	日常生活の指導 14:20 下校	日常生活の指導 14:20 下校	特別活動	日常生活の指導 14:20 下校
15:00 15:10	10	9 校時	日常生活の指導 15:10 下校			日常生活の指導 15:10 下校	

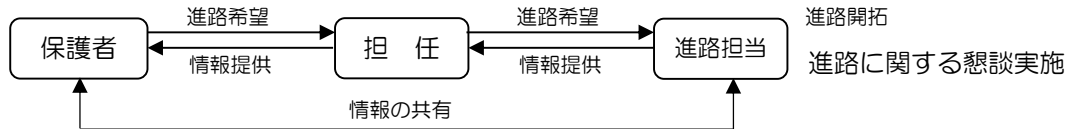
しりべし学園分校の進路について

1 進路の進め方

しりべし学園分校は、「自宅」から通学している児童生徒と施設から通学してくる「施設利用生」の児童生徒では進路の対応が異なります。

(1) 通学生の場合

- ① 年度始めに、進路希望調査を実施して本人・保護者の希望を把握し、情報を校内で共有する。
- ② 進路担当者は、担任・保護者と連携を図りながら進路開拓を行う。
- ③ 進路担当者が得た情報は、担任を通じて保護者に伝える。
- ④ 必要に応じて保護者・担任・進路担当者を含めた三者懇談を行う。
- ⑤ 現場実習などの送迎等は保護者の責任で行う。
- ⑥ ①～⑤を経て、本人及び保護者の意思の確認をもって決定とする。



(2) 施設利用生（措置）の場合

- ① 年度始めに、進路希望調査を実施して保護者及び施設の希望を把握し、情報を校内で共有する。
- ② 進路担当者は、しりべし学園・つくし園、保護者、担任と連携を図りながら進路開拓を行う。
- ③ 進路担当者が得た情報は、担任としりべし学園、つくし園に伝える。しりべし学園、つくし園は児童相談所を通して、保護者に情報を提供する。
- ④ 必要に応じて、しりべし学園・つくし園、保護者、担任、進路担当者を含めた懇談を行う。
- ⑤ 現場実習などの送迎や諸手続き等は保護者の責任で行う。保護者が対応できない場合は、しりべし学園、つくし園が代行する。
- ⑥ ①～⑤を経て、本人及び保護者の意思並びに施設や児童相談所の確認をもって決定とする。

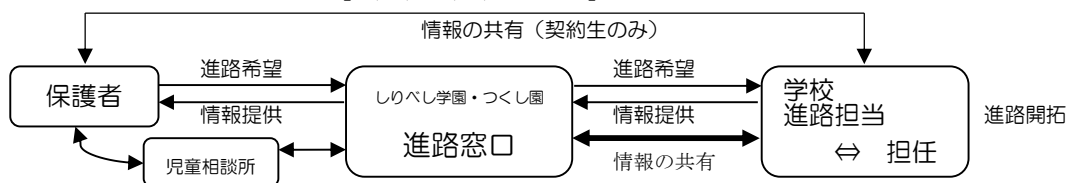
注意：しりべし学園、つくし園入所で「措置」利用の場合、児童相談所の了解が必要であり、保護者の希望だけでは進められないことがあるため、学校独自の判断はせずに、しりべし学園、つくし園を主として連携を図り進める必要がある。

(3) 施設利用生（契約生）の場合

- ① 年度始めに、進路希望調査を実施して保護者及びしりべし学園の希望を把握し、情報を校内で共有する。
- ② 進路担当者は、しりべし学園、保護者、担任と連携を図りながら進路開拓を行う。
- ③ 進路担当者が得た情報は、担任としりべし学園に伝える。しりべし学園は児童相談所を通して、保護者に情報を提供する。
- ※②③においては、学校と保護者が直接連絡を取り合う場合がある。
- ④ 必要に応じて、しりべし学園、保護者、担任、進路担当者を含めた懇談を行う。
- ⑤ 現場実習などの送迎や諸手続き等は保護者の責任で行う。保護者が対応できない場合は、しりべし学園が代行する。
- ⑥ ①～⑤を経て、本人及び保護者の意思並びに施設や児童相談所の確認をもって決定とする。

注意：しりべし学園の入所で「契約」利用の場合、児童相談所への経過説明等が必要であり、保護者の希望だけでは進められないことがある。従って進路に関しては、学校独自の判断はせずに、しりべし学園と連携して進める必要がある。ただ、情報交換や説明等で保護者と直接やり取りする方がスムーズと思われるケースもある。その際は、その内容を必ずしりべし学園へ伝える。

【（２）（３）の図式】



(4) 連携について

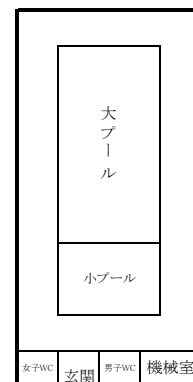
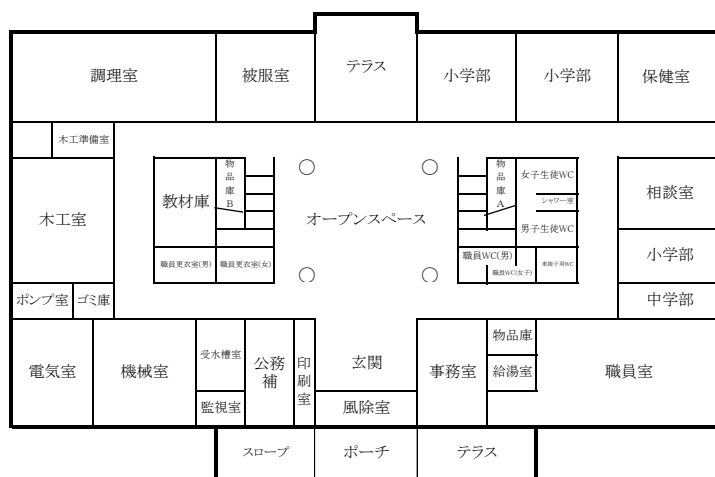
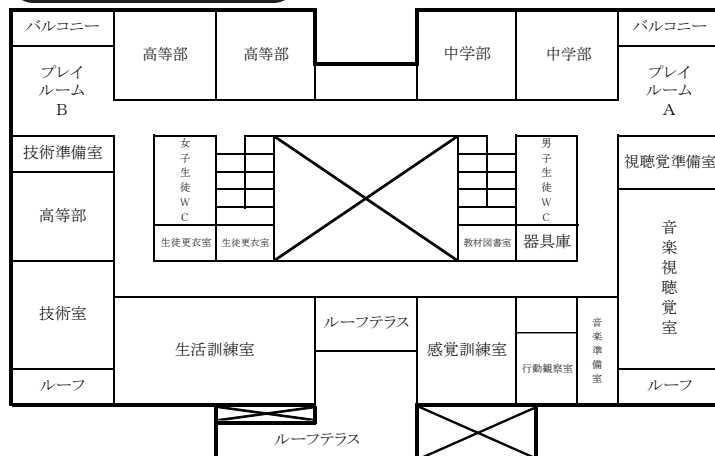
- ① しりべし学園、つくし園とは必要に応じて進路懇談を設定する。
- ② 各施設の進路に関する窓口として、しりべし学園／吉岡主任、つくし園／今村係長とする。また、重要な協議な場面においては、管理職の出席を求める。

2 高等部卒業支援

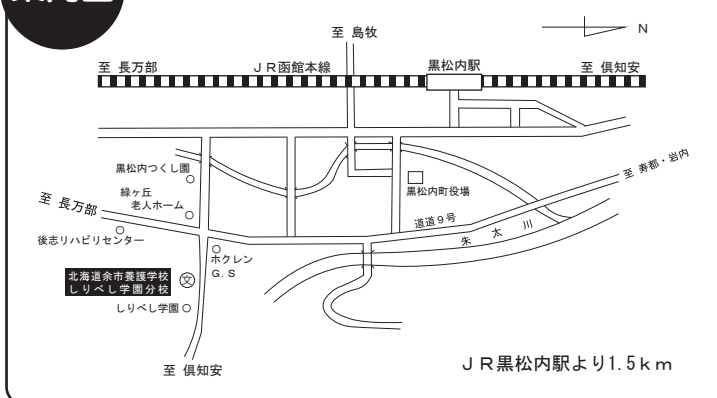
進路指導担当を中心に、関係機関、保護者等と連携し、次のように行います。

- ① 対象は本校高等部卒業生を原則とする。
- ② 高等部卒業生名簿を作成する。高等部卒業生名簿は毎年確認し、適宜更新する。
- ③ 学校において「卒業生の集い」を年１回実施する。
- ④ 卒業後３年間は、就労先及び生活の場に電話連絡を取り、必要に応じて支援する。

校舎平面図



案内図



教育相談等の御案内

お子さんの発達の状態、学習、子育て、進路などの相談に応じています。いつでも、お気軽に御相談ください。

- ◆学校見学 ◆巡回相談
- ◆ケース会議や連携協議会のお手伝い
- ◆検査の実施 ◆研修会のお手伝い
- ◆教材教具や検査器具の貸し出し 等



- 状況に合わせて対応しています。
- 相談内容の秘密を厳守します。
- 地域支援部までお問い合わせください。

連絡先

TEL : 0136-72-3903

E-mail: chiikishienbu-kuromatunai@hokkaido-c.ed.jp

